

岩倉(57.4k)の地点の水位と流量の関係について
(補足資料)

平成16年12月5日
木津川上流河川事務所

岩倉地点(57.4k)の水位流量曲線と今までの計算結果について

当初の氾濫計算の方法は笠置地点で等流水深を仮定して不等流計算を行い、木津川56.8k地点で水位流量曲線を作成し、不定流計算を行い上流の氾濫量を計算していた。

しかし、岩倉峡上流の治水対策の検討を行うにあたり、岩倉峡の疎通能力が何 m^3/s であるかが重要なポイントであることから、岩倉地点(57.4k)の実測の流量観測値と河道特性を基に水位流量曲線を作成した。

その水位流量曲線は次のグラフに示すとおりであるが、見直しを行う前の値もプロットした。

見直し前は下流の56.8kで水位流量曲線を与えて計算をしているため、岩倉地点(57.4k)の水位と流量の関係は不定流計算による点として与えられる。また、なるべく大きな流量までプロットを行うために、昭和40年台風24号洪水319mm引き伸ばしのケースを選定した。

岩倉(57.4km)地点水位流量曲線図

- ◆ 流量観測値
- 今回見直しを行った水位流量曲線
- 昭和40年台風24号洪水319mm引き伸ばし(遊水地完成、河道掘削あり:水位流量曲線見直し前の不定流計算結果)
- 横断

